

Student Suggestion Boxへの投書に対する回答

(意見) : 図書館の空調に関する要望

図書館内、特に日差しの強い学習室は、冷房の効きが悪いです、また、マルチメディアホールでは、パソコンの排熱も影響します。

朝から全てのブラインドを閉めておくべきだと思います。節約や環境対策を呼び掛けるよりも、ずっと効果があると思います。

夏季の冷房稼働開始日を遅らせたり、開館時間の初めのうちは冷房を切っておいたり、設定温度を28度に上げたりすることは、能率低下の原因になるので反対です。

燃料費の節約が目的ならば、利用人数に応じて、一つの学習室の冷房を切ればよいと思います。書架のスペースの冷房も、必要ないかもしれません。

冬場の過剰な暖房も、無駄でしかないと思います。熱気は足下から天井に逃げるだけで、頭寒足熱に反し、逆に勉強に向いていません。

暑さで意識が朦朧とした状態では、勉強などできません。本や机に汗が垂れ落ちるのも、衛生的ではありません。学生の本分は勉強なので、その環境くらいは保証してほしいです。

(回答)

いつも図書館をご利用いただきまして、ありがとうございます。

新潟大学では、夏の冷房設定温度を28℃としており、図書館もその基準に従って稼働させておりますが、窓や壁、書架の配置などの条件により、冷房の効き方に差が出てしまいます。また、残念ながら現状の設備では、ある学習室だけ冷房する、書架の部分だけ冷房を切るといったことができません。できるだけ快適になるように運用を検討したいと思います。暑いのに冷房が入っていない場合にはカウンターにご相談ください。

なお、冷房時のブラインドは、日が入る部分をなるべく閉めるようにしております。

冬場の暖房についても、ご意見を参考にして過剰にならないように気をつけます。

今後ともどうぞ図書館をよろしく願いいたします。